

介護 みんなで支える介護保険 No156

問 保健福祉課 介護福祉係
☎476-1111(141)

◆認知症について正しい知識を持ちましょう part 9

10月号から引き続き、認知症の症状である『認知症の行動・心理症状とその支援』について紹介します。

《認知症の行動・心理症状とその支援～その2～》

○将来の望みを失って、うつ状態になる場合があります

能力の低下を強く自覚し、密かに認知症に関する本で調べたりしている人もいます。そして自ら認知症を疑って将来に望みをなくし、うつ状態になることもあります。

周囲の対応としては、本人に恥をかかせないようにすることが大切です。『できることをやってもらう』ことは必要ですが、できたはずのことができなくなるという経験をさせ、自分の能力が低下してしまったことを再認識させるようなことは、ますます自信を失わせてしまい逆効果になります。

(例)

昔、書道がうまかったからといって書道を強要すると、本人にとっては下手になった文字を見るのは辛いと考えることがあります。

それとなく手助けをして成功体験に結びつけることができれば、少しでも笑顔が戻るようになるでしょう。しかし、うつ状態にあるときには周囲からの『がんばれ』という期待が負担になることがあるので注意が必要です。

○身の周りのことに支障が起こってくる

認知症が進行すると、入浴、更衣、排泄、食事など基本的な生活動作に援助を必要とします。排泄の失敗を例にしますと、本人にとっても非常にショッキングなできごとですが、まわりの方の対応が良ければ本人のプライドを傷つけずに済みます。排泄の失敗の原因は1つではないことを理解しておくことが大切になります。

	症 状	対 策
①	トイレの場所がわからなくなる。	トイレの場所をわかりやすくし、トイレと間違えやすい場所のドアなどを隠す。
②	衣類の着脱に手間を取って汚してしまう。	脱ぎ着に時間や手間のかからない衣服で着慣れているものにする。
③	切迫するまで尿意、便意を感じなくなる。	排尿、排便の周期を観察して、定期的なトイレの誘導を促す。
④	尿意、便意をまったく感じなくなる。	おむつが必要になります。

◆大崎町の介護保険事業の報告

介護保険事業の実績についての報告（利用者の1割または2割負担を除いた大崎町の支払い分）

第1号被保険者（65歳以上の人）		4,944人	平成27年9月末日 現在
要介護（支援）認定者		1,016人	
給 付 実 績	在宅介護サービス費	41,022,430円	平成27年8月の 給付実績
	施設介護サービス費	56,214,281円	
	その他（介護予防サービス費も含む）	31,574,280円	
	介護サービス費 合計	128,810,991円	